

授業科目 助産診断・技術学 IV

【担当教員名】 中山 和美		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 産褥期の助産診断と助産技術について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 産褥期の保健指導を計画立案、実施できる。 2 異常な状態にある産褥期ならびに新生児期の対象者の看護について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	産褥期の保健指導				講義
2	産褥期の保健指導				講義
3	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（1）				グループワーク
4	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（2）				グループワーク
5	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（3）				グループワーク
6	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（4）				グループワーク・発表
7	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（5）				グループワーク
8	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（6）				グループワーク
9	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（7）				グループワーク
10	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（8）				グループワーク・発表
11	異常な状態にある産褥期の対象者の看護（1）				講義
12	異常な状態にある産褥期の対象者の看護（2）				講義
13	異常な状態にある新生児期の対象者の看護（1）				講義
14	異常な状態にある新生児期の対象者の看護（2）				講義
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		別途提示します			
参考書		別途提示します			
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験、出席ならびにグループワークへの参加態度などを総合して評価する。			【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習してください。		